



平成 29 年 6 月 30 日  
九州地方整備局  
立野ダム工事事務所

## 立野ダムに関わる最近の取り組みについて【第 9 報】

～理解を深めて頂くための取り組み及び立野ダム建設予定地周辺の復旧状況～

### 1. 理解を深めて頂くための取り組み

- 「立野ダム建設に係る技術委員会」（活断層の専門家や総合土砂管理の専門家などの各分野の第一人者で構成）において、流木や巨石により洪水調節機能に支障がでるような影響はないことを含め、公開の場で議論いただき、「熊本地震後も立野ダムの建設に支障となる技術的な課題はなく、立野ダムの建設は技術的に十分可能」等との結論を得ました。
- この委員会の結論について、地元の方々のご理解を深めて頂くための取り組みを継続的に行っておりますので、その状況をお知らせいたします。

#### 【最近の取り組み】

- 1) 立野ダムにおける洪水調節の一連の流れや、流木等捕捉施設等の機能をわかりやすく説明した新しい動画を立野ダム工事事務所ウェブサイトに掲載しました。  
(別紙 1)  
事務所トップページURL : <http://www.qsr.mlit.go.jp/tateno/>  
動画トップページURL : [https://youtu.be/tCJAtrI\\_kNw](https://youtu.be/tCJAtrI_kNw)
- 2) 今後、この新しい動画を平成29年7月よりスタートする現地見学会などの場で活用して、立野ダムの機能について詳しくご説明していく予定です。  
(別紙 2)

○今後も県や市町村と連携し、ご理解を深めて頂くための取り組みを行っていきます。

### 2. 熊本地震後の立野ダム建設予定地周辺の復旧状況

- 施工中であった新たな工事用仮橋工事が6月29日に完成しました。この仮橋の完成により出水期も工事用車両の通行が可能となり、ダム建設予定地周辺の復旧工事の更なる進捗に寄与します。また、ダム本体の工事にも活用します。  
(別紙 3)

#### 【問い合わせ先】

(1)に関する問い合わせ)

国土交通省 九州地方整備局

TEL : 092-471-6331 (代表)

河川部 河川計画課長

坂井 佑介 (内線 3611)

(2)に関する問い合わせ)

国土交通省 立野ダム工事事務所

TEL : 096-385-0707 (代表)

技術副所長

安田 豊生 (内線 204)

○立野ダムにおける洪水調節の一連の流れや、流木等捕捉施設の機能をわかりやすく説明した新しい動画を立野ダム工事事務所ウェブサイトに掲載しました。

○今後、この新しい動画を平成29年7月よりスタートする現地見学会などの場で活用して、立野ダムの機能について詳しくご説明していく予定です。(現地見学会については別紙2参照)

事務所トップページURL : <http://www.qsr.mlit.go.jp/tateno/>

動画ページURL : [https://youtu.be/tCJAtrI\\_kNw](https://youtu.be/tCJAtrI_kNw)



**ダム周辺の風景 (定点写真)**  
ダム周辺の周囲の風景の移り変わりを写真で紹介しています。

- ダムサイト周辺 (下流より)
- ダムサイト周辺 (上流より)
- 日経尾瀬大橋周辺

**立野ダムの洪水調節**  
[クリックして動画を再生します]

**新着情報** | 新着情報 | 記者発表 | 入札・契約情報 | お知らせ

新着情報一覧はコチラ

- 2017/4/19 **入札・契約情報** [重要案件] 陸奥建設院の公表を更新しました。
- 2017/04/13 **記者発表** [九州地方整備局発表] 平成28年熊本地震から1年、～復旧の歩みをおよめました。～<河川関係発表>
- 2017/03/24 **記者発表** 立野ダムに関する最新の取り組みについて【第5編】 PDF
- 2017/02/27 **記者発表** 立野ダムに関する最新の取り組みについて【第4編】 PDF
- 2017/01/27 **お知らせ** 平成28年度 交通情報委員会に関する基本設定資料を公表します PDF
- 2017/01/23 **お知らせ** 「立野ダム建設事業に関するよくあるご質問について」を更新しました。
- 2016/12/26 **記者発表** 立野ダムに関する最新の取り組みについて【第3編】 PDF
- 2016/12/15 **お知らせ** 「立野ダム建設事業に関するよくあるご質問について」を更新しました。

H28年 熊本地震の対応について

洪水調節の一連の流れを説明

さらに貯水位が低下すると貯水池が徐々に川の状態に近づくことで、流速が早くなり、湛水によって一時的に堆積した土砂は徐々に下流に流されていきます。

施設の機能を拡大して説明

流木等捕捉施設の説明

ダム上流側も、通常の河川と同様な流れとなっており、流れてきた流木や大きめの石は、上流に設置する流木等捕捉施設で捕捉されます。

○「白川流域にお住まいの方を対象とした現地見学会」を平成29年7月を皮切りに、12月まで合計5回開催します。

復旧・復興の進捗を是非ご覧下さい。

○参加申込書は、以下にて、配布しています。

- ・立野ダム工事事務所、熊本河川国道事務所、熊本県の各ウェブサイトに掲載
- ・関係市町村(熊本市、阿蘇市、大津町、菊陽町、高森町、南阿蘇村、西原村)窓口で配布

※募集要領の詳細は、立野ダム工事事務所ウェブサイトをご覧ください。【<http://www.qsr.mlit.go.jp/tateno/>】

## ●平成24年九州北部豪雨時の状況



## ●平成28年熊本地震時の状況



## ●現地見学会のタイムスケジュール



各回とも  
取材可

## ●現地見学会の開催日

	開催日	参加申込書提出期限
第1回	平成29年7月29日(土)	平成29年7月10日(月)
第2回	平成29年8月26日(土)	平成29年8月9日(水)
第3回	平成29年9月23日(土)	平成29年9月7日(木)
第4回	平成29年10月28日(土)	平成29年10月12日(木)
第5回	平成29年12月2日(土)	平成29年11月15日(水)

※現地見学会のタイムスケジュールの予定時刻は、当日の交通状況等によって前後する可能性があります。記載の時間より前に現地を移動することはありません。



○施工中であった新たな工事中用仮橋工事が6月29日に完成しました。この仮橋の完成により出水期も工事中車両の通行が可能となり、ダム建設予定地周辺の復旧工事中の更なる進捗に寄与します。また、ダム本体の工事中にも活用します。



工事中用仮橋の完成状況(右岸上流より望む)



工事中用仮橋の完成状況(左岸下流より望む)

(参 考)

「平成 28 年熊本地震」を受け、立野ダム工事事務所では、現場復旧や地元の方々のご理解を深めていただくための様々な取り組みを行っています。

これまでの取り組みは以下のとおりです。今後、随時更新・記者発表してまいります。

【熊本地震後の立野ダム建設予定地周辺の復旧状況について】

- ・ 7 月 6 日 河川内にアプローチするための道路の復旧完了
- ・ 11 月 11 日 ダムサイト上流の準備工事用仮橋の復旧完了
- ・ 11 月 15 日 復旧したダムサイト上流の工事用仮橋を活用し、左岸工事用道路工事に着手
- ・ 12 月 27 日 左岸工事用道路及び仮排水路トンネルの復旧に必要な左岸斜面の復旧工事に着手
- ・ 2 月 22 日 ダム本体工事及び復旧工事に利用する工事用仮橋工事に着手
- ・ 3 月 27 日 左岸斜面对策工に着手
- ・ **6 月 29 日 工事用仮橋完成**

【立野ダム建設に係る技術委員会について】

- 学識者からなる「立野ダム建設に係る技術委員会」を設置し、平成 28 年熊本地震後の立野ダム建設に関し、技術的な確認・評価に関する検討を公開の場で議論いただきました。
- 8 月 17 日の委員会で「熊本地震後も立野ダムの建設に支障となる技術的な課題はなく、立野ダムの建設は技術的に十分可能であると考えられる」等との結論を得ました。

【理解を深めて頂くための取り組みについて】

- 委員会の結論を「立野ダム建設に係る技術委員会報告書（概要版）」としてわかりやすくとりまとめ、9 月 16 日に立野ダム工事事務所 HP に掲載しました。また 9 月 20 日より白川流域の 21 箇所を設置・配布しています。
- 「立野ダム建設に係る技術委員会報告書」を 9 月 23 日に立野ダム工事事務所 HP に掲載しました。また 9 月 26 日より白川流域の 21 箇所で開催しています。
- 委員会の結論に関する問合せ窓口を設置しました。

※問合せ窓口：九州地方整備局 立野ダム工事事務所 調査設計課  
TEL：096-385-0707（代表）  
E-MAIL：tateno-otazune@qsr.mlit.go.jp

- 委員会の結論をまとめた概要版を用いて立野ダム建設予定地周辺の現地説明を行っています。
  - ・ 9 月 13 日 南阿蘇村（村長及び職員、村議会の全ての議員の皆さま） 37 名
  - ・ 10 月 4 日 菊陽町（町長及び職員、町議会の議員、区長の皆さま） 38 名
  - ・ 10 月 7 日 大津町（町長及び職員、町議会の全ての議員の皆さま） 35 名
  - ・ 10 月 12 日 景観、環境保全等に関する学識者の皆さま 3 名
  - ・ 10 月 13 日 景観、環境保全等に関する学識者 1 名
  - ・ 10 月 14 日 阿蘇市（市長及び職員の皆さま） 3 名
  - ・ 10 月 18 日 熊本県（知事及び職員の皆さま） 6 名
  - ・ 11 月 15 日 阿蘇火山博物館学術顧問
  - ・ 11 月 25 日 熊本県（県議会建設常任委員会の全ての議員及び阿蘇郡市選出県議会議員、職員の皆さま） 18 名
  - ・ 11 月 27 日 熊本市（市長及び職員の皆さま） 9 名

(参 考)

- ・ 12月7日 景観、環境保全等に関する学識者の皆さま 7名
- ・ 12月10日 熊本青年会議所等の皆さま 約50名
- ・ 5月15日 熊本県（県議会建設常任委員会の議員及び阿蘇郡市選出県議会議員、  
職員の皆さま）18名
- ・ 5月22日 南阿蘇村（村長及び職員の皆さま） 5名
- ・ 6月30日 報道関係者
- ・ 7月29日～12月2日まで計5回 白川流域にお住まいの方を対象（予定）

○立野ダム建設予定地の現地状況や工事状況が確認できる眺望場所に説明パネルを設置しました。

○治水パネル展等において、立野ダムに関するパネルを展示しました。

- ・ 11月5日～18日 白川地域防災センター 白川わくわくランド（熊本市：治水パネル展）
- ・ 11月7日～11日 熊本県庁（熊本市：治水パネル展）
- ・ 11月7日～18日 くまもと森都心プラザ（熊本市：治水パネル展）
- ・ 11月23日～12月1日 おおづ図書館（大津町：治水パネル展）
- ・ 12月5日～16日 杉並木公園管理センター（菊陽町：治水パネル展）
- ・ 1月29日 くまもと森都心プラザ（熊本市：治水パネル展）
- ・ 3月5日 熊本市国際交流会館（熊本市：防災・減災シンポジウム）
- ・ 5月23日～6月6日 くまもと県民交流会館パレア（熊本市：白川治水パネル展）

○立野ダムにおける洪水調節の一連の流れや、流木等捕捉施設の機能をわかりやすく説明した新しい動画を立野ダム工事事務所ウェブサイトに掲載しました。

※これまでの取り組みは、

「地震後の立野ダムに関わる区域の状況について【第1報】～【第6報】」、

「立野ダムに関わる最近の取り組みについて【第1報】～【第8報】」

「平成28年熊本地震から1年～復旧の歩みをまとめました～＜河川事業関係＞」  
で公表しています。